

【平成 27 年度】

統計研修講義計画書

研修課程	統計専門課程 経済予測	講義科目	生産関数による経済予測	講義時間	8 コマ
講師	中東 雅樹 新潟大学人文社会・教育科学系准教授				

※1コマ 70分

講義のねらい

本講義では、経済予測のうち長期的な経済変動の予測に用いる生産関数について、基本的な知識を講義し、実習として生産関数を用いた経済分析を行う。

本講義を通じて、経済変動を扱ったケインジアン・モデルと生産関数モデルとの違いを正確に理解できるようにするとともに、生産関数を用いた経済分析の基本的な手法を修得することで今後の業務で長期的な経済予測で利用できるようにすることを意図している。

指導項目と内容

指導項目	内容
1. マクロ経済における生産関数の位置取り	国民経済計算体系での生産関数の位置取りと生産関数を用いた経済予測の意義を講義する。
2. 生産関数にかかわる概念の整理	生産関数にかかわる基本的概念と生産関数の基本的な関数型の性質を講義する。
3. 労働投入量、生産量に関する概念の整理	労働投入量と生産量データの取り扱いで注意すべき内容を講義する。
4. 資本ストックに関する概念の整理	資本ストックに関する基礎概念と、資本ストックの推計方法、稼働率の考え方について講義する。
5. 【実習】労働投入量、生産量、資本ストックデータの整理	生産関数の推計に必要なデータの作成と整理を行いながら、生産関数で用いる統計データを取り扱うときの注意点を講義する。
6. 【実習】生産関数の推計	生産関数を推計して、推計パラメータの意味とパラメータに関する統計分析を行う。
7. 生産関数による経済予測	経済予測として生産関数を用いるときの注意点を講義する。

講義形態 指導方法	<ul style="list-style-type: none">・講師による説明・パソコンを用いた実習
受講に必要な 基礎知識等	<ul style="list-style-type: none">・国民経済計算体系の基本的な枠組みの理解・Excel のワークシートやセルの基本的な操作・Excel を用いた基本的な計算